

「第3回村岡公民館再整備建設検討委員会」・ 「ワークショップ」の開催結果について(お知らせ)

第3回村岡公民館再整備建設検討委員会および村岡公民館再整備に関するワークショップを開催いたしましたので、結果について皆様にお知らせいたします。



【第3回村岡公民館再整備建設検討委員会について】

日時 2018年6月20日(水) 午後6時から8時まで

場所 村岡公民館 多目的室

議題 村岡公民館再整備に向けた取組について

内容 事務局による「基本構想」の策定内容、ワークショップ、今後のスケジュール等

<事務局の説明>

- (1) 基本構想とは「より効率的で質の高いサービス提供を実現する施設整備のため、効果的な施設配置や管理運営方法等を考慮した建設計画に関する考え方を整理するもの」と考えている。
- (2) 再整備については、「藤沢市公共施設再整備基本方針」である次の3点に則り行う。

- | | |
|--------------------------|-------------|
| ① 共施設の安全性の確保 | ② 公共施設の長寿命化 |
| ③ 公共施設の機能集約・複合化による施設数の縮減 | |

- (3) 再整備におけるコンセプト(案)の大方針及び個別の方針を次のとおり示した。なお、この案はあくまでもたたき台であり、今後委員の皆様のご意見をもとに、さらに検討を進める。

「学び・育み、団体活動、福祉及び防災の拠点施設であるとともに、
地域からより頼りにされる公民館」

[個別の方針]

- ① 「地域の人材発掘・育成」～地域のまちづくりをすすめる活力を育む
- ② 「地域の安全・安心拠点」～地域でいつまでも安心して暮らすために
- ③ 「地域の交流促進拠点」～自然に人や情報が集まる
- ④ 地域団体・サークル等の「活動の活性化・設備の充実」～生涯学習の推進

(4) 基本構想策定業務受託者（八千代エンジニアリング㈱）より、来年度以降行う予定の基本設計・実施設計を円滑に進めていくための準備として、大きく分けて次の5項目の検討を併行して進めることを説明した。

- ① 再整備コンセプトの検討 ② 関係法令及び条例の整理
- ③ 適正な施設規模の検討 ④ 最適な建物配置の検討
- ⑤ 必要となる機能の検討

<主な質疑応答内容>

○和室やホール等の活動室の広さは、現状の面積を踏襲することになるのか。サークルの力関係で決まることはなのか。

→ 今後、実施するワークショップやアンケート、地域団体・サークルの意見を参考に決めていく。不平等な計画とならないよう建設検討委員会の場で確認していく。

○浸水想定区域のため、盛土を行った上で建設することについての検討はどうなっているか。

→ 平成30年1月に公表された境川水系洪水浸水想定において想定浸水深が見直されたため、これに留意した上で検討を行う。

○コンセプトは施設完成後もキャッチコピーのように使われていくものなのか、それとも施設づくりのためだけのものなのか。

→ 今の段階では、そこまで決めていない。基本構想のなかの大方針を定めるまでと考えていたが、ご意見等あれば今後検討していく。

○施設の長寿命化を前提に建設するのは当たり前ではないか。

→ 施設を50～60年使用していくためには、できるだけ不具合が出にくい仕様にする必要があり、メンテナンスや管理をしやすいものとするを想定している。

○説明の記載に「乳幼児や子ども、高齢者、障がいのある方等が集い、交流を図られるようにすることを目的とする～」とあるが現時点で具体的な考えはあるか。

→ 誰もが自由に集える環境を作っていければと考えている。

○市の本庁舎のような行きたくなる居心地のいい公民館にしてもらいたい。また、館内にサークル活動の内容がわかりやすく表示されれば、サークル活動の活性化にもつながると思う。

○人材発掘・育成について、地域の活動においても非常に難しい状況にあるが改善策を考えているのか。

→ どの地域でも人材、担い手不足である状況から行政としても次世代の担い手を増やしていかなければならないと考えている。地域の方々のご協力を仰ぎながら人材発掘に努めていきたい。

○現コンセプト案は、説明の解説が必要となるような難しい文章になっている。「みんなが集まれる」、「人にやさしい」、「村岡のことを知る」といった短文を集めるような作業から始めた方がよいのではないかな。まずは、どういう目的で施設を整備しようとしているのか整理していく必要があるのではないかな。

→ ワークショップやアンケートの中でたくさんのキーワードが出て来るものと考えている。それらをコンセプトしてまとめていきたいと考えている。

○今回、「参加対象者を子育て世代などの若い層とする。」とのことだが、公民館の利用者に限定するのか。

→ 公民館を利用しているか否かは問わない。若い層の意見を聴取する機会がなかなか設けられず、また、機会を設けても全員から意見を聞くことが難しいことから、この手法を用いることとした。

○次回は、公民館利用者に向けて実施するのか。

→ 公民館利用者については、アンケート等を実施し、意見を聴取したいと考えている。必ずしも若い層の意見を優遇するということではない。

【ワークショップについて】

<事務局の説明>

日時 2018年7月28日(土) 午前10時から正午まで

会場 村岡公民館 多目的室

目的 子育て世代など若い層の意見を引き出し、「村岡公民館再整備基本構想」の策定に向けた建設検討委員会における検討材料とする。

実施方法 参加者を3グループに分け、グループごとにブレインストーング・KJ法により意見をまとめた。

参加人数 15人(30代:6名 40代:7名 50代:2名 ※男性:2名 女性:13名)

[各グループ意見まとめ ～〇〇〇〇公民館～]

Aグループ : 安心・安全で明るい公民館

Bグループ : 誰でも気軽に安心安全で明るい施設
～ 地域で見守る公民館 ～

Cグループ : みんなの公民館

参加者から出された主な意見は次のとおりです。

<部屋・スペースについて>

[作ってほしいもの]

- 体育室、トレーニングルーム、ランニングトラック、フリークライミング施設・飲食スペース、コンビニ
- 保育、子育て交流、キッズプレイスペース ●交流スペース（異年代間、諸団体間）
- 読書スペース、歴史資料スペース、パソコンルーム ●音楽室 ●芝生の広場、水遊びができる広場

[トイレ]

- 数を増やしてほしい。 ●広くしてほしい。 ●みんなのトイレを設置する。 ●車いすで入れる。
- すべて様式にしてほしい。 ●すべてウォシュレットを設置する。

[図書室]

- 今より広くしてほしい。 ●畳があるとよい。 ●茶室として使えるとよい。

<交通アクセス>

- 駅をつくってほしい。
- コミュニティバスの運行（公民館前にバス停がほしい）。

<駐車場について>

- 十分な駐車・駐輪台数を確保してほしい。
- 入口に屋根のある車寄せがあるとよい。

<災害対応>

- 災害に強い施設にしてほしい（耐震化、災害時の機能充実）。

<IT環境>

- Wi-Fi 環境を整備してほしい。
- パソコンを自由に使える環境。

<イメージ・雰囲気>

- 明るくしてほしい。
- ヒーリング音楽が流れているとよい。

【今後のスケジュールについて】

- ◎今年度、建設検討委員会は4回の開催を予定しており、次回は8月30日(木)に開催する。
- ◎ワークショップの開催は、7月下旬と8月上旬に2回の開催を予定している。
- ◎アンケート調査は、地区住民と公民館利用サークルを対象に9月から10月までの間で実施を予定している。
- ◎公民館サークル・諸団体及び建設予定地近隣自治町内会への事業進捗状況等の説明は、9月下旬と2月上旬に予定している。
- ◎平成31年3月2日(土)に郷土づくり推進会議〔全体集会〕を開催し、説明を行う予定としている。
- ◎市議会への報告は、来年2月に行う予定としている。

【問い合わせ先】 藤沢市役所 村岡公民館 電話 23-0634

※村岡公民館建設検討委員会は、公開で開催しています。

※傍聴をご希望の方は、事前申込みとなっております。